

令和3年度 第1回朝倉市総合教育会議

日時：令和3年7月26日（月）14：00～15：30

場所：ピーポート甘木第7学習室

出席者：構成員	林市長、早野教育長、井手教育委員、内藤教育委員、 鹿毛教育委員、上原教育委員
教育部	池田教育部長、則松教育課長、仲山文化・生涯学習課長、 朝妻教育課主幹参事、大坪教育課参事 松尾教育課課長補佐、中村教育課総務係長
関係課	安丸保健福祉部長、高岩福祉事務所長、 上村子ども未来課長、浦塚防災交通課長
事務局	森山総務部長、佐々木総合政策課長、井上男女共同参画推 進・青少年係長、青木
傍聴者	0名

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議題

(1) 新型コロナウイルス感染症対策と新たな教育環境の構築について

- ①学校のICT教育への取り組み
 - ・GIGAスクール構想（タブレット配置）
 - オンライン教育への取り組み
- ②いじめ・不登校対策
- ③家庭教育
 - ・学校と家庭の連携
 - ・家庭教育におけるICT環境による教育格差

(2) 児童・生徒数の推移と学校の在り方について

①児童・生徒数の減少に伴う今後の学校、学級づくり

- ・子ども数減少によるクラス減少とその可能性
- ・地域防災施設としての学校の位置づけ

5 その他

6 閉会

市長	<p>市長あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、教育長をはじめ教育委員会委員の皆様におかれましては、令和3年度第1回朝倉市総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>皆様には日頃から、本市の教育行政にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。</p> <p>昨年から世界中で拡大した新型コロナウイルス感染症により、日本でも経済面・社会面において多大な影響を受けました。学校現場におきましては、朝倉市でもいくつかの学校でクラスター発生という事例もあり、教育現場の先生方におかれましては、学校生活・行事・保護者との関わりなどにおいて、今もなお大きな緊張感をもっておられることと存じます。そんなコロナ禍の中で、GIGAスクール構想に基づき、学校におけるICT教育への取り組みが進められておりますが、コロナ感染に伴ういじめ、長期休暇後の生徒の不登校など懸念される点も多くあります。学校と家庭の連携が必要ですが、家庭教育において、ICT環境による教育格差も危惧されているという状況です。</p> <p>こういったことから教育現場における「新型コロナウイルス感染症対策と新たな教育環境の構築について」を前回に引き続き、今回も総合教育会議の議題の一つとさせていただきました。</p> <p>また二つ目は、朝倉市でも地域により児童・生徒数が減少し、今後の学校、学級づくりをどう進めていくか、また地域防</p>
----	--

	<p>災施設としての学校の位置づけの可能性を考えるべく「児童、生徒数の推移と学校の在り方について」という議題を設定したところです。</p> <p>この総合教育会議は、市長である私と教育委員会が、互いに対等な執行機関の立場として、教育分野における課題や教育のあるべき姿について、協議・調整を行う会議でございます。</p> <p>各種情報を共有し、両部局が連携しながら、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策等を効果的に推進することで、本市の教育行政をよりよい方向へ進めていくものであると考えております。</p> <p>これから、皆様方と闊達に議論することで、総合教育会議が、市の教育行政の更なる充実・発展に寄与することを期待いたしますとともに、教育長並びに教育委員会の皆様には、この会議を含め、今後とも、市の教育行政のためにお力添えを賜りますよう、切にお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会に際しましてのあいさつとさせていただきます。</p>
教育長	<p>6月12日付で教育長を拝命いたしました早野と申します。第1回総合教育会議に市長はじめ関係各課の方々のご参加をいただき、ありがとうございます。日頃より、新型コロナ対策として修学旅行中止に伴う感染予防補助金、教職員のコロナワクチン優先接種等配慮を頂いていることに、改めてお礼申し上げます。本日の会議は「新型コロナウイルス感染症対策と新たな教育環境の構築について」と朝倉市の緊近の課題となっております。両部局が一体となり、本日の会議が実のあるものとなりますよう、よろしくお願い致します。</p>
総合政策課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、議題に入ります。朝倉市総合教育会議設置要領第3条第1項により、林市長に、議長として進行していただきます。よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>大切な会議です。意見の交換を滑達にして頂きたいと思いません。</p> <p>それでは、次第「4 議題」にあります順に、協議を行ってまいりますので、よろしく願いいたします。</p>

	<p>(1)の「新型コロナウイルス感染症対策と新たな教育環境の構築について」を議題といたします。</p> <p>まず「①学校のICT教育への取り組み」として「GIGAスクール構想(タブレット配置)によるオンライン教育への取り組み」について議論します。</p> <p>教育課から資料の説明をお願いします。</p>
教育課課長 補佐	「学校のICT教育への取り組み」について説明
市長	「①学校のICT教育への取り組み」について、説明がありました。ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。
内藤委員	GIGAスクール構想による小・中学校での取り組みですが、子どもたちは扱い慣れています。先生の指示もタブレットで行い、改めてGIGAスクール構想の大きな可能性を感じ、期待しているところです。
鹿毛委員	各学校でタブレットへの取り組みがされていますが、先生の得意、不得意により、タブレットの使用頻度、授業での使い方に差がでてきているように見受けられます。不得意な先生に対する支援、研修は行われているのでしょうか。
教育課課長 補佐	夏休みに機器の操作、アプリケーションの使い方、セキュリティ、プログラミング学習、ICT機器を利用した授業デザイン(学習方法)の研修を開始しました。
市長	今の研修は各学校で実施しているのでしょうか。
教育課課長 補佐	概ね6中学校ブロックに集まっていたいただき、学校現場で実施しています。人数によっては、3、4校で集まって実施しています。
井手委員	先生方のタブレット活用の得意、不得意について、学校訪問の中でその格差を感じました。いかにその格差を埋めていくの

	<p>かを考えなければならないと思います。また、家庭環境においても、保護者がICT教育に理解のある家庭とそうでない家庭とでは、子どもたちの格差が生じてしまうのではないかと危惧しています。</p>
教育課課長 補佐	<p>今後、ICT学習が進む中で、家庭学習でも積極的に前向きに取り組んでいただける環境をつくっていくことが大事です。教育委員会事務局でも、今後家庭との連携も対応できるようにしたいと思います。</p>
教育長	<p>家庭での啓発は課題であり、例えば学期末、2学期のPTA研修会等で保護者へタブレット使用の注意点、配慮事項等周知啓発していくことが必要です。</p>
上原委員	<p>GIGAスクール構想は今から本格的になっていきます。学校訪問で見ても、タブレットで正しい英語発音を聴けるなど、学習の本質に沿ったかたちへと変わっているように感じます。先進的な技術導入にあたり、先生方の仕事量も増えますが、よりよい学校、子どもたちの学習の本質を考えるよい機会になるのではないかと感じています。</p>
市長	<p>学校視察を何回位されたのですか。</p>
上原委員	<p>6割ほどの学校を訪問しました。タブレットを使用した授業も視察しました。</p>
市長	<p>以前秋月中学校を視察したことがありますが、新しい環境で音が途切れたり、IT環境の不具合もありました。</p>
教育課課長 補佐	<p>ネットワーク設定の関係でのエラーは改善できました。ハウリングという機械のもつ特性はありますが、2つの機器を近くに置かないこと、マイクとスピーカーの調節等で改善できます。</p>
市長	<p>1つの課題としては、家庭での受け止め方、認識度のちがいで格差が出てくるという点。これは非常に配慮すべき事項だと</p>

<p>内藤委員</p>	<p>思います。</p> <p>蜷城小学校では家庭によって、W i - F i 環境が整っていない所もあります。モバイルでやったり、こちらから設置する方法もあります。今タブレットは補助的な役割ですが、今後は主になるのではないかと思います。タブレットに関して、どう変化してくるのか、過渡期にあります。不登校の子どもに対しても、自宅でオンラインで授業を受けることができる等、いろいろな問題もあると同時に、いろいろな可能性も広がります。</p>
<p>市長</p>	<p>I C T 環境においても、教育が持つ「教育は人が人を教え、導く」というところはこれからも変わりありません。その辺りの考えは、今後も教育委員会で考えられていると思います。</p>
<p>教育部長</p>	<p>I C T 教育は始まったばかりですが、これからの可能性を秘めています。現在はタブレットを持ち帰ってのオンライン学習を目指していますが、教育の「人が人を教育する」部分は、I C T が取って代わるわけではありません。</p>
<p>教育長</p>	<p>「教育は人が人を指し示す道」であり、文部科学省では主体的な学びを目指しています。コロナ禍では I C T は教育の手立ての一つであり、そのツールとしてタブレットがあります。タブレットの使用法を習得してもらい、人による教育、I C T 教育との併用型が望ましいです。</p>
<p>市長</p>	<p>課題として、タブレットを今持っていない先生たちが持つてほしいこと、2点目に職員配置の問題があります。</p> <p>課題について、今後取り組んでいくようお願いします。</p> <p>以上で「①学校の I C T 教育への取り組み」についての協議を終わります。</p> <p>次に「②いじめ、不登校対策」について議論します。</p> <p>教育課から資料の説明をお願いします。</p>
<p>教育課主幹 参事</p>	<p>「いじめ、不登校対策」について説明</p>

市長	「②いじめ・不登校対策」について、説明がありました。 ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。
井手委員	近年、子どもたちの自殺が増加傾向にあります。コロナ禍におけるストレスが原因となっているのではないか、またいじめや不登校においても同じくコロナ禍による影響が原因となっているように思います。
教育課主幹 参事	コロナが流行し始めた昨年3月から長期の休暇に入り、親は仕事に行き、子どもはなかなか起きてこない等、生活リズムの乱れから不登校になった子どももいます。またコロナに感染した人もいるが、感染者が悪いわけではなく、感染者へのいじめを生まない取組が必要です。
鹿毛委員	小学校においても、子どもたちのコロナによるストレスが表れています。習い事もできない、外で遊べない状況の中、家で我慢している分、学校で爆発しています。学校でも子どもたちの言葉が荒くなり、先生によっては対応しきれないクラスがあると聞いています。担任が一人で背負うのではなく、2人でクラスを見る等の方法が必要ではないでしょうか。
内藤委員	最近では注意欠如、多動性といったADHDの子どもも増加しており、支援員が必要になります。
教育課筆頭 主幹参事	特別支援学級に入るまではない児童生徒が、総合的に学校生活を送るうえで、支援員の活用を小・中学校で図っています。甘木中学校、甘木小学校、立石小学校が朝倉市の児童生徒数の半数を占めますが、甘木小学校では支援員が不足しているの で、一人で複数の子どもを支援しています。中小規模の学校では支援員1、2名の配置になっています。
教育課長	支援員は市内全部で26、27人位、勤務時間は週に19時間以内、年間600時間以内と決まっています。
市長	勤務時間等はどこで決まっていますか

鹿毛委員	月ごとに辞令交付があり、身分が安定していません。夏休み等は無給になります。
教育課長	朝倉市で予算上、そのように決定しています。扶養の関係もあるでしょうが、他市状況を参考にしていきます。
鹿毛委員	支援には専門的知識をもった専門的な見解が必要になります。
市長	支援員の関係は整理をしてください。 以上で「②いじめ・不登校対策」についての協議を終わります。 次に「③家庭教育」における「学校と家庭の連携、家庭教育におけるICT環境による教育格差」について議論します。 教育課から資料の説明をお願いします。
教育課主幹 参事	「学校と家庭の連携」について説明
教育課課長 補佐	「家庭教育におけるICT環境による教育格差」について説明
市長	「③家庭教育」における「学校と家庭の連携、家庭教育におけるICT環境による教育格差」について説明がありました。 ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。
上原委員	ほとんどの中学校で通信機器に係る宣言を決めていますが、保護者側もきちんと把握する必要があります。いじめとSNSの関わり等PTAを活用して啓発することが大切です。 またPTAで啓発したから安心するのではなく、実態調査の把握に努めて、PTAの取組として実行していただきたい。
教育課主幹 参事	県親子ふれあい運動の中で、夏・冬休み明け1週間に行動をチェックする取組もあります。
市長	以上で「③家庭教育」における「学校と家庭の連携、家庭教

	<p>育における I C T 環境による教育格差」の協議を終わります。 次の議題にまいります。 (2) の「児童・生徒数の推移と学校の在り方について」を議題といたします。 「①児童・生徒数の減少に伴う今後の学校、学級づくり」として「子ども数減少によるクラス減少とその可能性、地域防災施設としての学校の位置づけ」について議論します。 教育課より説明をお願いします。</p>
教育課総務係長	<p>「児童・生徒数の減少に伴う今後の学校、学級づくり」について説明</p>
市長	<p>「児童・生徒数の推移と学校の在り方について」、説明がありました。 ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。</p>
内藤委員	<p>蜷城小学校では、両筑橋の架け替えにより立ち退く家があったり、水害の影響もありました。複式学級になると、学力、体力等への影響も考えられ、今後注目していきたいです。</p>
上原委員	<p>朝倉東小学校では支援学級が 4 クラスありますが、生徒数の減少により学級が減少しても、先生の数は減らしてほしくないです。</p>
内藤委員	<p>この議題の場で言うのは違うかもしれませんが、理科室、図工室等各学校の特別教室にもエアコン設置が必要です。</p>
教育課長	<p>特別教室も夏休みから設置工事を行い、順次解消の見込みです。</p>
鹿毛委員	<p>最近では、早ければ小学生 3、4 年生で、生理が始まる子がいます。学校保健室には生理用品を置いてありますが、子どもからは言い出しにくいので、トイレにも生理用品を設置してほしいと思います。またトイレを和式から洋式に改修してほしいです。</p>

教育課長	<p>トイレに生理用品を設置している学校もあると聞いていますが、コロナによりそれができない状況もあります。また、洋式トイレは和式よりスペースが広く必要なので、スペースを確保しつつ、解消する方向で検討していきたいと思います。</p>
市長	<p>市全体で、人口が減少していますが、将来の朝倉市を担う子どもたちのため、今後も教育環境において、いろんな視点から考えていきたいと思います。</p> <p>出席している関係課からは、何かありますか。</p>
子ども未来課長	<p>母子に係る相談状況について説明 要保護児童対策地域協議会において教育環境との連携を図っています。</p>
防災交通課長	<p>全ての学校が避難所と位置付けられ、学校の教育活動に支障のない範囲で体育館、武道館等を使用することになります。ただし体育館にはエアコンがなく、停電時等の心配もあります。昨年から災害協定によりホテルも借りています。</p>
上原委員	<p>千葉県で通学中の小学校の事故がありましたが、各学校通学路の危険地帯、安全点検はどうでしょうか。道路の設置者も県、市、警察等ありますが。</p>
教育課課長補佐	<p>道路管理者により改善策をとり、順次対応します。</p>
鹿毛委員	<p>500号線も歩道が狭く、車も速度を上げるため危険です。</p>
市長	<p>道路の交通安全は地域のコミュニティ、区からの要望があがってきます。</p> <p>以上で「児童・生徒数の推移と学校の在り方について」の協議を終わります。</p> <p>せっかくの会議でございますので、委員さんからその他何かご意見等はありませんか。</p> <p>ないようですので、本日の議題は終了とさせていただきます。以上で、議長としての進行を終わります。ご協力ありがとうございました。</p>

総合政策課 長	うございました。
事務局	次第「5 その他」です。
総合政策課 長	令和3年度朝倉市男女共同参画まちづくり講演会の開催案内 次回の総合教育会議は、来年2月中旬頃開催予定です。 これをもちまして、令和3年度第1回総合教育会議を閉会いたします。